



子供のしつけ、というものは、なかなか一朝一夕にできるものではなく、毎日毎日繰返される生活の中で自然に習慣づけられてゆくものらしいのです。いよいよ新入学のシーズンを迎えお子さんをお持ちのご家庭ではいろいろと御心遣いも多いかと思えます。そこで新入学を迎える児童のしつけをどうしたらいいか特に健康生活の習慣について、取上げてみることにしました。

新入学に備えて

清潔のしつけ

幼稚園ではすでに自分で顔を洗ったり、歯を磨いたり、手足をきれいにしたりするしつけをしますが、もしまだこのようなお子さんがあれば早く治すようにしたいものです。

朝食の前にこれらのことを、よく確認しましょう。外出から帰ったら必ずうがいや歯を磨く等、常に家の者が注意を怠りなくすれば、ひとりで習慣がついてゆくものです。

爪切り洗髪は日をきめて

爪をきるとか髪を洗うようなことは、とくに男の子では怠りがちになります。日

をちゃんと決めてなるべく自分ですすんでやらせるようにしましょう。やり方は、道具さえ危険でなければ一人で十分で、よくやり方をのみこませることが大切です。

公共心を育てる

社会で暮らす大切な態度として公共心を育てることに気をつけなければならぬでしょう。日本人は、一般に公共心が乏しく、公園でも街路でも名所でもゴミを捨てたり痰やつばをはいたり、落書をしたりします。幼児の公共心を育てるには、まづもつて身近なことから始めるのが一番き、めがあるようです。例えば公園などにピクニックに行った時には自分の持ち物を片づけること、周囲に紙クズを落さないよう、まとめて所定の場所に捨てる等身近な経験をつむことも忘れてはならないことです。

規則正しい暮らし方

子供が健康で毎日を楽しく送るためには何よりも毎日の生活を規則正しくするということが大切です。間食が多すぎると三度の御飯が少くなると栄養がかたよつて、しらすしらすのうちに病気になるります。規則正しい生活のしつけはもはや幼稚園の頃からできています。ですが、まだ十分でないお子さんには今からでも遅くありません。すくなくよい習慣をつけるように全力を尽くさなければなりません。早寝、早起、歯磨き、食事、便通、おやつ、入浴、運動など、健康のために守らなければならぬことを、いちいち注意しなくても進んで実行していくような習慣をつくらせることが大切です。

食事の時間をきめて

生活を規則正しくすることの一つとして、食事の時間をきめて守らせることもぜひ実行して頂きたいものです。食べたい時に食べ、食べたくない時には食べないということでは、やがて健康を害してしまいます。季節によつて、多少の違いはあつても朝食は何時、夕食は何時ときめておいて、その時刻を正確に守らせるようにしましょう。これは家人も協力しなければなりません。

食事の態度を正しく

時間と共に、食事する態度も正しくしつけることが大切です。例えば食前には必ず手を洗うとか、「いただきます」、 「ごちそうさま」のあいさつを励行するとか、一家の者は好き嫌いなしに食べるとか、自分の食器は自分で片付けることなど、手近かに実行できるところから少しづつしつけていきたいと思います。食事の最中に、大声で騒いだり、席をたつて飛び廻つたり、口に食べ物を入れながらしゃべつたりすることは、無作法なばかりでなく消化にも悪いからやめさせるようにしましょう。

好き嫌いをなくそう

偏食は子供の健康や性格と深い関係があります。性格の異常な子供はたいてい好き嫌いが甚しく、また弱々しい体の子もやはり偏食である場合が多いようです。生れつき、どうしても食べられないという子もいますが、中にはわがまま、で偏食になつた子が多いのです。これは家族の者の責任といわねばなりません。何でも喜んで食べるような健康な子にして下さい。

このほか、早寝早起きの習慣をつけることとか、床の中で本を読まない注意とかいろいろありますが、要は、子供を決めつける態度ではなく、自ら納得させながら、身近な問題から習慣づけることが大切ではないでしょうか。(衛生部)

(前頁から)

販売店、これも免田まで買いに行くのでは手間もかゝるし高くもつくつとあつて、共同出資の買店を事務所に隣接してつくり、日用雑貨、食料品、衣料類までそろえた。安くて便利、マージンで自給自足している豆デパートだ。

これより先、二十三年には全村に電灯がつき、やがて事務所には公衆電話が備えられ、電報も取扱う、郵便ポストも出来た。有線電話もとりつけた。さアどうしても托児所だ。全団こぞつての熱望で幾度か協議会もたれ、清村さんは県当局に猛陳情をつづけた。

廿七年、待望はついに叶えられ県の補助を得て清水保育所は誕生した。瓦葺平屋建二棟、赤ん坊、二・三才、四・五才、それ以上学令まで、と四室に炊事室その他を加えた明かるい建築。

四人の保育さんがそれぞれの部屋で子供たちの世話をしており、調理師の婦人は炊事室で給食の準備、これで子供の問題はすつかり解消、労働力はフルに使えるわけだ。

入植当時一頭の畜力もなかつたのが、今では全戸家畜をもつている。

赤牛 四八 乳牛 一三
肥育牛 二二 豚 四五
鶏 三三〇

肥育牛は十一月のセリ市で買ったもの将来肉牛として売出す方針だ。畜力で人力は大いに省けるし、能率は格段に飛躍した。自動耕転機をもつ人もあるが一般にその必要はない位だという。

多角的営農が清村さんの指導方針で、あらゆる面から収入を計っている。三十三年度の粗収入は一戸平均二十五万円だったが、三十四年度には三十五万円をめざしている。

「もちろんそうはいきませんがね」と笑う清村さんにはしかし自信がありそうだ。

毎月一日と十五日の午後は、全村休むので保育所に集まつているいろいろな会をもつことが多い。筆者の行った前々日にも甘藷座談会と前記営農計画の協議会を開いたという。

集会といえは近くの消防倉庫には十五馬力のガソリンポンプが備えられ、隣室



豆デパートの売店……★

(次頁へ)

の話所は畳敷六畳ばかりで、炬を囲んでの小集会に使えるそうだ。ク水はどうしますク

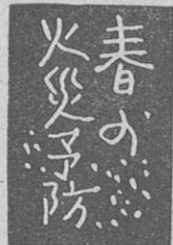
と聞くに全戸に井戸がある上、近くの百太郎溝を利用した貯水池もあるので十分だとある。

「青年が三十人ほどいて武道場がはし

いといひます。せひ叶えてやりたいが今のところ財政が精一杯でね。しかし南部利水も近いし、そのうち必ず実現させます。」

最後に清村さんはどういつて眼を輝かした。

(瓜報課)



(二月十八日―三月十三日)

毎日の新聞でも火災のことをみない日はない位最近では非常に多く火災が起きています。

県下でも学校等の大火が多く発生しています。

このように貴重な財産を火災でなくすことは非常に残念なことです。

これからの三、四、五月は例年火

災が最も多くなる季節になります。戦後の大火を発生期別にみましてもその三分の二はこの季節に発生しています。またこれによる損害は年間火災損害額を大きく左右させるものです。春は空気が特に乾燥し、あらゆる物が燃えやすくなり、それに季節風が吹くと日本のように木と紙の建物では一寸した失火から大火になる例は多いものです。

毎日の火の取り扱い等には充分注意して一寸した不注意から火災を出さないようにお互い心がけたいものです。

(消防課)

観光サービス読本

熊本県における観光のウエイトは、産業と並んで大きなものがあり、その将来性は益々重くみられているが、接客業者のサービスは全国でも最低の評さえあるので県観光連盟では今度「観光サービス読本」をつくつて具体的な改善に乗りだした。今春のシーズンは勿論来年の団体客を前にぜひ活用してもらいたいもの。

(観光課)